

世界保健機関の新型コロナウイルス感染症対応に関する質問主意書

提出者 松原 仁

世界保健機関の新型コロナウイルス感染症対応に関する質問主意書

世界保健機関（WHO）は、「全ての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」を目的として設立された国連の専門機関である。そして、中華人民共和国湖北省武漢市で発見された新型コロナウイルス感染症は、感染拡大スピードを考慮すれば、「全ての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」に現実的脅威を与えている。

しかし、WHOのテドロス・アダノム事務局長は、新型コロナウイルス感染症を「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」と宣言するを行っている。さらに、同事務局長は、新型コロナウイルス感染症が広まっている現状の下、中華人民共和国からの避難は必要ない旨発言したと報道されている。

他方、中華人民共和国は、発熱発生が確認された日本国民の出国を認めていない。人の自由な移動を制限しなければならぬ事態は、それ自体非常に新型コロナウイルス感染症が蔓延する極めて現実的危険が認められる事態といえる。これは、中華人民共和国一国の問題ではなく、まさしく「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」である。

そこで、次のとおり質問する。

一 政府として、新型コロナウイルス感染症を「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」と宣言することを見送っているWHOの立場を支持するか。

二 政府として、中華人民共和国内で新型コロナウイルス感染症が拡大している中で、中華人民共和国からの避難は必要ない旨発言しているWHOのテドロス・アダノム事務局長を支持するか。

三 政府の姿勢が、WHO及び同事務局長の姿勢と異なる場合、政府として、どのようにWHO及び同事務局長へ働きかけていくことを検討しているか。

右質問する。